

フィルム現像

現像

1. フィルムを巻きつけたリールをセットする。
2. 現像液の温度を18～24℃に調整する。その温度によって現像時間を決める。
(参考:フィルム現像 露光と現像時間一覧表)
3. タンクに現像液を一気に注ぎ、すぐにタンクをトントンと床(机)にたたきつける。その後、1分間の連続かくはんを行う。
4. 3の終了後、「1分待つて5秒かくはん」を繰り返す。
5. 現像時間に達したら、現像液をボトルに戻す。
6. 戻し終わったら、かるく水洗する。

停止

1. 作っておいた停止液を注ぎ、1分間の連続かくはんを行う。
2. 1の終了後停止液をもとに戻し、1分間水洗する。

定着

1. 定着液(約20℃)を注ぎ、1分間の連続かくはんを行う。このとき、同じフィルムの切れ端を1枚入れる。
2. 連続かくはん終了後、「1分待つて5秒かくはん」を繰り返す。切れ端の1枚目が透き通ったら取り出し、2枚目を入れる。
3. 2枚目の切れ端が透き通ったらフタを開け、中身を確認する。(この後の作業はすべてフタ不要)
4. 定着が終了(にごりやくもりのない状態)していれば、定着液をボトルに戻す。
5. 1分間の水洗を行う。

参考)

スーパーフジフィックスの場合:定着時間の目安は20℃で10分

QW

1. QW液(約20℃)を注ぎ、30秒かくはん、30秒静置する。
2. 1終了後、液をボトルに戻す。(このときQW液が透明になっている場合は、処理能力を失っているので捨てる)
3. 5分間の水洗を行う。

DW

1. DW液を注ぎ、1分間の連続かくはん。そのとき、リールを浮かすようにまわす。
2. 1終了後、乾燥させるところにつるす。
3. スポンジをDW液にひたして、ネガ表面についた泡をやさしく落とす。
4. 乾燥。

乾燥後

1. 6コマごとに切る。
2. ネガシートに保存。

※ 注意

- ・ 薬品を注ぐときはためらわずに一気に注ぐこと。
- ・ DWは揮発性が高いのですぐにフタを閉めること。